

文芸コーナー

大空に舞うっどもたちへの祈り  
「小林鯉のぼり」

ほっとレポート

「登竜門」という言葉があります。これは中国の「後漢書」の中の故事で、黄河の急流にある「竜門」という滝を、魚たちが登ろうと挑み、鯉だけが登り切って、竜になったことから生まれた言葉です。以来、鯉の滝登りは立身出世の象徴となり、その故事を模した鯉のぼりは親たちの願いを託した、子どもたちへのメッセージとなりました。小林地区には、その鯉のぼりをシンボルとしたイベント「小林鯉のぼり」があります。今年6回目を迎えるこのイベントは、毎年JR小林駅北口の広場で開催。主催は「小林住みよいまちづくり会」をはじめとした地元のみなさんです。



▲会場には大小色とりどりの鯉のぼりが



▶子ども鯉のぼり優秀賞の一人、菊地凌成くん。表彰状を手にニコリ



▲ダンスやこま回しなどのイベントも充実

会場に入ると、まずたくさん鯉のぼりがお出迎え。ほかに、市内の小学校など28団体に参加して作った「子ども鯉のぼり」も飾られています。その数何と2,840匹。日本一の数です。この子ども鯉のぼりは、優秀賞などの選考があり、入賞した人に

は、表彰状が授与されました。ほかにイベントが目白押しで、綿あめなどのお店から、こま回しや竹馬などの昔懐かしい遊びのコーナー、鯉のぼりを利用したトンネルが目まします。舞台では、小林北小児童

や小林中生徒による音楽演奏、いちごハウスのパフォーマンス、ヒップホップ、フラダンスや和太鼓など、バラエティ豊かな顔ぶれが会場を盛り上げていました。後日「小林住みよいまちづくり会」の高橋さんにお話を伺いました。「小林鯉のぼりの目的は、日本の伝

統的な行事を通した子どもたちの健全な育成や地域の活性化ですが、今年は東日本大震災被災地へのエールも兼ねて開催しました」と高橋さん。自粛の声もあつたようですが、地元元氣まで自粛しないよう、あえて開催の決断をしたそうです。また「限られた人員、物資での開催ですが、協力者のみなさんや地元からの寄付で頑張っています」と笑顔で答えてくれました。ところで、会場で驚きの再会がありました。ふと目にとまった鯉のぼりが、紛れもなく幼いころ、自宅の庭で泳いでいた鯉のぼりだったので、帰宅した後、家族に聞くと「寄付をした」とのことでした。今も元気に泳ぐその姿に懐かしさがこみ上げてきました。

掲載情報は6月6日現在  
團クリーン推進課クリーン推進班(☎内線 382)

リサイクル情報広場

●ゆづりませ情報 (有料の物は希望価格)

- ▲勉強机(要相談・3千5百円)▲小林中学校女子制服(夏・冬)▲電子レンジ(3千円)▲ロフトベッド(シングル用)▲鎌ヶ谷高校女子制服(要相談)▲公務員試験教材(警察・消防)▲セミダブルベッド(足つきマットレス)▲カラコン手織り機(2枚綜絢卓上型)▲手紡ぎ機(床上足踏み式)。

●さがしています情報

- ▲天神幼稚園女子制服・体操服・かばん・帽子▲秀明八千代高校男子制服・体育用品など▲印旛中制服・体操服(男子・女子)▲しおん幼稚園制服・ジャージ(男・要相談)▲補聴器(ボックス型、M・T切り替えスイッチ付き)。

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバックを持参しましょう。



短歌

加藤恵美子選

今日もまたかたくりの花増えてみん見る楽しみを思ひ家出づ  
よもぎ入りし館あをきパンあがなひて春を抱けるごとく帰り来  
春寒と原発事故にてためらひし野菜の種を少しだけ蒔く  
山となす瓦礫の前に立つ人が拾ひし写真じつと見てあつ  
鯉の色いろいろありて吾が好む紅濃く塩濃き鮭求め来し  
木下東 平湯 京子

俳句

五十嵐正雄選

かぶと折る指の記憶や子供の日  
参詣の人を余所目に春田打  
さり気なく話題を替えて新茶つぐ  
幼子の小さなリュック風薫る  
蝌蚪育つ木漏れ日うすき寺の池  
小林浅岡 榎本聖游子  
岩戸 豊田 ケイ  
原山 片岡 芳子  
木刈 宮下 諄子  
木刈 蘭田 篤生

〈短歌・俳句をお寄せください〉

一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

施設がいと

松山下公園総合体育館  
トレーニングルーム

みなさんは、いつもどんな運動していますか。日々の中で、運動不足に陥りがちな人には、松山下公園総合体育館内にあるトレーニングルームがお勧めです。去年の12月にオープンになったばかりのこの施設では、最新のトレーニングマシンで運動が可能。また「TGSキー」(有料)という小型の



▲光差し込むオープンな環境でのトレーニングが可能

キーで、トレーニング結果が保存できる画期的なデータ管理システムもあります。この「TGSキー」は、各マシンにキーを差し込むことでプログラムやさまざまなデータを自動記録し、運動履歴や消費カロリーなどが一目で把握できる優れたものアイテム。記録されたデータは、常駐している健康運動指導



▲モニター右上の黄色いTGSキーで個人データが一目でわかります

士・実践指導士が分析し、利用者へのアドバイスにも役立っています。現在の登録者は、約500人ほどで、三十五〜四十代の女性が多く、最高齢は七十代の人もいるそうです。市内・市外にかかわらず、高校生以上の人は、免許証などの個人証明書があり利用のための講習会を受講すれば、すぐに利用可能です。

講習会では、基本となるベーシックプログラム(45分で200kcal消費)を体験し、以降、個人に合った推奨プログラムが組まれていきます。面白かったのは、一カ月の運動量の目安を、アメリカで行われているニューヨークシティマラソンを走破した時の運動量に合わせるというところ。それ以外にも、上半身・下半身、体の前面・背面など、部位ごとにどれだけのトレーニングを行ったか、これからの目標を達成するために必要な成果や目標を自分で見て分かる点は、初心者でも親しみやすく親切だなと思いました。健康運動指導士の秋山さ

んにお話を伺いました。「年齢・性別を問わず楽しめる設備・システムを体験して欲しい」とのことです。梅雨で「野外の運動ができない」とお嘆きの人も、来たる夏へ向けてダイエットを目指す人も、このトレーニングルームがお勧めです。☎スポーツ振興課振興班(松山下公園総合体育館内・☎8417)。

